

議会だより

発行 大桑村議会

議会報編集特別委員会

長野県木曽郡大桑村長野2778

電話 (0264)55-3080



1/12 出初式 分列行進、

12月定例会

■補正予算 3

■一般質問
6名が登壇、村政を問う 6

■議員研修
シェルビービル訪問報告 12



年頭 あいさつ

大桑村議会議長

下起 幸一

村民の皆様方には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて大桑村では今、村づくりの方向性を示す第五次総合計画を取りまとめられています。大桑村らしさをより一層生かした村づくりを目指しています。

しかし課題も多く、少子高齢化社会の進展や産業の振興、教育福祉の向上など諸課題が山積しています。

議会の果たすべき役割、責務はますます重要さを増してきています。私たちが議員は、村民の代表としての決意を新たに、行政財政改革の徹底と議会の活性化に取り組み、住んでよかったと思える村づくりの実現に向けて努力してまいります。

本年もより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



5,712万円を追加

一般会計総額 34億8,212万円

12月定例会は、12月11日から20日までの10日間の会期で開かれ、委員長報告、組合議員報告、議長報告、行政報告、監査報告の後、陳情1件を審議。一般質問（6名6件）が行われた。村長提出議案（報告1件、条例改正4件、補正予算2件）が上程され慎重審議可決した。

のぞきど森林公園

Q 使用料の増加要因は。

A お盆時期の利用が多く、特にケビン・バンガロー宿泊者が増えた。

有害鳥獣駆除

Q クマの皮はぎ防止テープの需要増による補正追加だが、今年の被害状況と捕獲数は。

A 被害はサル2件、クマ4件、カモシカ1件。目撃情報はサル10件、クマ13件、ニホンシカ2件。捕獲はサル24頭、ニホンシカ7頭、イノシシ22頭だ。

Q 捕獲割当頭数が減ったカモシカを最近見かけるが。

A 造林地が少なく、植林する木が少ないので被害を受けていない状況だ。

道路橋梁費

Q 国からの地域の元気臨時交付金とは新たなものか。

A 3月補正予算で決まったもので、今回充当した。

大桑橋架け替え

Q 大桑橋の架け替えは、当初は今年度概略設計の予定だったが、状況は。

A 現大桑橋下流に許可の問題もあり今年度は予備設計段階、来年度に概略設計となる。

大桑駅線道路改良

Q 進捗状況は。

A 上田沢橋台の拡幅工事が困難なため、今回設計委託費用を計上した。

Q 信号の取り付けは無理なことだが、J Rのガード拡張は可能性があるか。

A 高さ4・5m基準を満たす工事が不可能なため、現状では困難だ。

要望

19号からの弓矢地区へのアクセスは3か所とも安全面で不安があるので、今後しっかりとした計画を。

19号線中山歩道の除雪

Q 通学路でもあり高齢者も利用が多く、除雪は国交省管轄で出来ることがある。村でも対応できないか。

A 村でも手押し除雪機が2台あり、阿寺橋と川向橋をやっている。機械をやりくりし検討したい。

Q 中学校にも除雪機を増やし、校内及び通学路の除雪に対応

できないか。

A 大事な点なので検討する。

下在郷分館新設

Q 新設の経緯は。

A 分館・区長会より移転新設の要望があった。村としても下在地域の緊急避難場所としての必要性を考えていたので早急に対応した。

Q 他へ移転した時の今の分館の維持管理は。

A 集会所として利用すれば、村で維持管理費を出すことになる。



下在郷分館

こんなことが決まりました

条例改正

●大桑村税条例の一部改正

●村税外収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例の一部改正

●大桑村後期高齢者医療に関する条例の一部改正

●大桑村保育所設置条例の一部を改正する条例

●国の法律等の一部改正に伴う関係条文の改正

陳情

●私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情

陳情団体

中信地区私学助成推進協議会

会長 中熊 昭一

結果

全会一致 採択

行政報告

○シエルビービル市

訪問

◎日程

10月25日～11月1日

◎訪問者

貴舟村長、岩佐副議長、

職員(勝野・小林)、ホームステイ3名

5月に亡くなったロイ・シャフ前市長の弔問とジョンソン新市長との懇談のため今年度の訪問団に同行しました。

○LPガス協会と

災害協定締結

11月7日、重野長野LP協会木曾支部長が

来村し、災害時におけるLPガスにかかる保

安の確保や避難場所、

仮設住宅等に対するLP

ガス供給について、

一般社団法人長野県LP

ガス協会及び長野LP

協会木曾支部と「災害

害時におけるLPガス

に係る協力に関する協定」を締結しました。

○全国村長サミット

木島平村長の呼びかけによる第2回全国村

長サミットが11月15・

16日木島平村で開催さ

れ参加しました。全国

184の村から33村の

村長、長野県知事、大

学の先生方、一般の参

加者、120名余の参

加がありました。

○要望活動

木曾川右岸道路の建設促進や木曾南部直轄

砂防の建設促進につい

て、同盟会として、南

木曾町、上松町とともに

にそれぞれの機関に要

望活動を行いました。

○全国町村長大会

11月20日、全国町村

長大会がNHKホール

で開催され、全国の町

村長が一堂に会し、相互の連携を一層強固な

○木曾広域連合正副

連合長人事

11月27日、田中木曾

町長の退任に伴う木曾

広域連合の正副連合長

人事が決まりました。

連合長は宮川南木曾町

長、代表副連合長は田

上上松町長、村長は建設と文化振興を担当し

ます。

なお、併せて町村会

の担当にも変更があり、村長は農政林務部

長を務めることになりました。

○森林づくり等表彰

11月17日、埼玉県熊

谷市で開催された全国

育樹祭において、「ふ

れあい森林づくり優良

市町村」として国土緑

化推進機構理事長賞を受賞しました。

また、10月16日、長

野県治山林道協会の総

会において、林道維持

管理の優良団体として

表彰されました。

○尾上志げのさんに

長寿祝い金贈呈

野尻上町上の尾上志

げのさんが100歳を

迎えられ、12月3日長

寿祝い金をお渡しし、

長寿をお祝い申し上げ

ました。尾上さんは大

正2年11月のお生まれ

です。

委員会報告

経済建設 常任委員会

◎9月20日開催

9月定例会終了後、委員全員と議長、村側から村長、副村長、担当課長らが参加し、馬場沢砂防えん堤および下在の蛇抜沢災害現場、ナラ枯れの発生した袖山の現地を視察した後、国道19号弓矢交差点改良事業、村道伊奈川1号線改良事業、フォレスパ木曽の現状について説明を受け、質疑を行った。

▼調査の結果と概要

1 視察調査

①馬場沢砂防えん堤
平成25年3月に完成した現地を視察、古谷課

長より透過式えん堤の概要について説明を受けた。

②蛇抜沢

8月23日の集中豪雨により土砂流出のあった現場を視察した。

③袖山

カシノナガキクイムシによるナラ枯れの状況を確認し、松下課長より説明を受けた。

2 国道19号弓矢交差点改良事業について

大桑駅付近の交差点改良事業の進捗について、吉田課長補佐より説明があった。平成24年度に国道側の用地買収が終了、本年度は橋梁の拡張にともなう河川協議、来年度拡張工事、27年度中に土坑工事が完成の予定。
村道大桑駅線の改良



馬場沢砂防えん堤の視察

3 伊奈川1号線改良事業について

3工区の図面により説明があった。

4 フォレスパ木曽の現状について

5〜7月までの営業実績について、前年度と比較し説明を受けた。

(報告者 古畑昌夫)

総務社会 常任委員会

◎10月30日開催

大桑中学校・小学校の視察調査

▼大桑中学校

第2校時の授業を参観し、中学校長と懇談。問題点等について意見交換。いじめについては、面談等や普段の観察の中では無いと思われる。不登校の生徒はいるが、少しずつ登校している状況。

▼大桑小学校

第3校時の授業を参観し、小学校長と懇談。問題点等について意見交換。児童数の減少により来年度は、職員が2名減となる可能性がある。多様な児童がいて支援が必要な場合もあるため保育園と

小学校が更に連携して対応にあたりたい。

▼所感

施設面では、中学校の一部教室に於いて、冷房機材設置の必要性を感じた。また、平成4年完成で築年数が20年以上経過した建物のため今後、改装等検討

されたい。小学校に於いては、良好の状態。教員配置に関して、児童・生徒の減少に伴い、教員が減らされる恐れがある。村費採用による配置など問題が出てくる。議会として、国や県に基準の見直しを求めていきたい。

(報告者 鈴木武)



小学校での授業参観

質 問

この問答は、質問議員が要約したものです。

水野 進 議員



より良い施策推進のため 実施計画の開示を

適切に対応する

Q 懇談会の成果は。
A 構想や基本計画に反映すべきものはなかったが、意見は可能な限り採りこみたい。

Q 村長公約の反映は。
A 施策化としては

建設
◆景観・文化振興での誇りを持てる村づくり
◆あてら荘や滞在型観光

A ◆防災拠点の庁舎

◆国道へのアクセス道路整備
◆高齢者等健康福祉である。

Q 具体的な年度事業、予算編成にどう結び付くかが村民の関心ごと。この過程を明示するのが「実施計画」であり、開示は必要と思うが。また、年度事業・予算化での「優先・重視の考え方」は。

A 毎年作成する予算編成の内部資料であり、今後も開示しない。



第5次総合計画諮問会議

Q 松塩筑木曾老人福祉施設組合では、11月議会で実施計画の説明を受けるが、年度事業化への進め方がよく理解できる。是非開示をお願いしたい。

◆事業・予算化での優先、重視の考え方は、①は村民の生存、②は、人口の減少抑止、③は、より豊かな生活と考える。

◆予算をあまり必要としないシフト的事业、例えば、防災・減災シ

ステムと地域自治組織の整備等は村民の生存に関わる事業で、早急な対応が必要と思うが。

A 指摘事項は、実施計画の中に入っている。状況変化や予算額の変動もあるので、年度の重要性和財政上の許容度を見ながら進めたい。

◆開示の場合、金額だけが先走りし、真に必要な事業推進の妨げになる場合もあるので適切に対応したい。



下在阿寺線

Q 26年度主要事業は。大桑橋の予備設計、下在阿寺線・大桑駅線改良工事、下在分館の建設、庁舎の調査等

A 計画・実施・検証・評価、是正の管理体制が重要だが。

Q 計画・実施の行政評価と後期基本計画策定前に行う前期の達成度評価で対応したい。



Q&A 村政を問う

鈴木 武 議員

般

阿寺溪谷入山に協力金の 導入を提案する

国有林のため難しい

阿寺溪谷

Q 今シーズンは、人命に係わる事故が多発した。来シーズンに向けて、安全面の対策は考えているか。また、トイレ清掃やゴミ

収集を全額村費で賄うのではなく、利用者からも応分の負担を求める考えはないか。

A 危険に遭遇しないように、個々で対応していただくことが重要。村としては、関係機関との連携やホームページによる広報、看板設置、パトロール

強化による対策を検討中。ゴミの収集やトイレ清掃は当面の間、村

負担でシルバー人材センターへ依頼したい。

Q 駐車場の狭く、近隣住民の通行に支障が出ている。また、通行車両の増加により排気ガス等、環境汚染が懸念される。これらの打開策として、フォ

ードでシルバー人材センターへ依頼したい。



溪谷入り口の路上駐車

レスパ木曾駐車を活用し、富士山入山料のような「保全協力金」を導入し、溪谷の維持管理に充てる考えはないか。

A 現状では、環境汚染の心配はないと思う。保全協力金については、多くの方に訪れてほしいことや、国有林のため徴収すれば、村が国有林管理者へ利用料支出するなど新たな問題が生じる。

あてら荘 木曾ふれあいの郷

Q あてら荘は、耐震診断を実施しているのか。

A 一部改築した建物は、耐震化が図られている。

Q 木曾ふれあいの郷の中心的存在である温泉館を閉館した時点で、この事業の継続を放棄した印象を受ける。利用計画が示されていない中、26年4月

に県出資事業の「冒険の丘」等の施設を移管するのか。また、発案者は誰か。

A 移管構想は、県から提示されたもの。県では、県予算で修繕が完了した部分から順次移管したいとのこと。村としては、あてら荘と一体化して有効活用

に努めたい。



冒険の丘

質 問

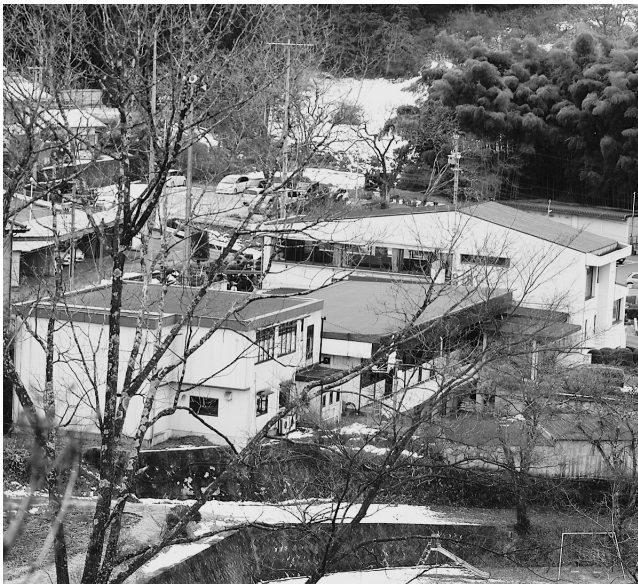
この問答は、質問議員が要約したものです。

岩佐 孝和 議員



第5次の10年間のうちに 庁舎建設は 庁舎と複合施設も視野に

- Q** 第5次総合計画も最終段階の審議会に入っている。この組織の実効性をどう求めるか。
- A** 条例により定められ、当て職の方、公募委員等に原案に対して意見を伺って、直すべきは直してよい計画にしたい。
- Q** 村の審議会等の組織の多くは当て職であり固定化している。もう少し流動的に考えられないか。
- A** 条例中の学識を有する者、村長が適当と思う人が今回、10人程入っており改革を進めている。



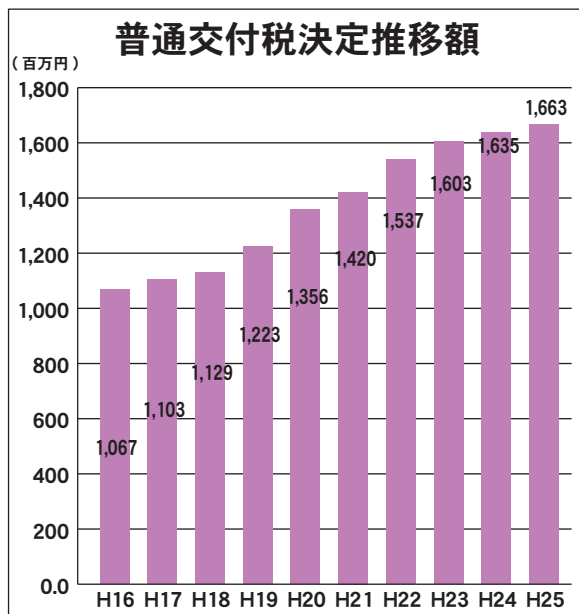
庁舎と中央公民館

- Q** 第5次総合計画の中に、文化施設への思いを強く感じるが。
- A** この10年で目玉になるのが庁舎建設と思うが、全額自主財源になる。文化施設と

- 複合なら補助が可能ではと考える。今後、検討委員会等で議論を尽くし、方向性を考えてい。
- Q** 来年度、地方交付税の見通しは。
- A** 来年度も16億8千万円程を見込んでいたが、過日国の方針が出て別枠加算が非常に厳しくなった。これが廃止となると総額の約一割が減額となる。

- Q** 村債の額と依存財源の割合は。
- A** 村債は交付税措置が80%の辺地債、70%の過疎債等を補助裏として4億8千万円程かと思う。依存財源は70〜74%程、村税は20%程度と推測している。
- Q** 自主財源の村税、なかでも住民税の落ち込みが大きいと感じるが。
- A** 担税人口の減もあり、企業の動向も

- 加味して考えると現存の産業が今のままで推移するとは思われない。
- Q** 重要事業として村道改修、補修事業とともに下在分館建て替えがあるが、どう進めていくのか。
- A** 地区の方々から建て替え要望があり、来年度事業とした。地区へは用地等準備をお願いし、村は12月補正で測量設計委託料を計上した。





Q&A 村政を問う

木戸 勘一 議員

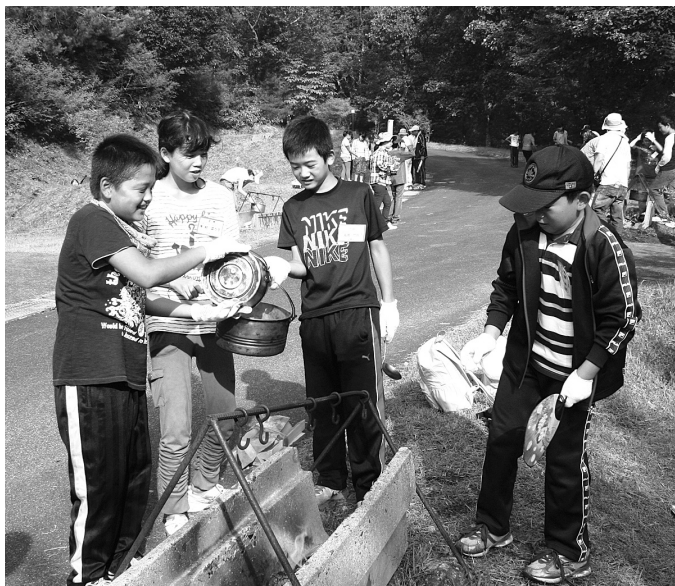
般

防災の進め方は

ささえ合いマップの浸透を図る

- Q** 閉館になって一年半、美しい村づくり、景観対策として温泉館を撤去する考えはないのか。
- A** 温泉館の取り壊しは、検討していない。
- Q** 村長公約で、自然に包まれた美しい村づくりとある。撤去して三色桃、しゃくなげなどの花畑として、話題性豊かな景観整備をする考えは。

- Q** 大桑村の将来を見据えると判断が難しい。フォレスバ木曾周辺の整備には努力していく。
- A** 保養センター阿寺荘も41年経過し、施設の老朽化と時代に合わない内装となっている。今後の経営方針は、新たな施設の建て替えは考えていない。今の施設を有効に使うため、修繕などし



子供交流セミナー（のぞきど森林公園）

- Q** 大桑村の将来を見据えると判断が難しい。フォレスバ木曾周辺の整備には努力していく。
- A** 保養センター阿寺荘も41年経過し、施設の老朽化と時代に合わない内装となっている。今後の経営方針は、新たな施設の建て替えは考えていない。今の施設を有効に使うため、修繕などし



老人クラブ連合会 北名古屋市との共同作業

- Q** 地球温暖化現象で異常気象が著しく、村内でもいつ大きな災害に見舞われるか心配される。適正な避難誘導は。
- A** 防災のしおりを基に地域で協力して避難していただく。また、ささえ合いマップが全地区で浸透するよう社協と協力していく。
- Q** 北名古屋市と友好提携しているが、今後の進め方は。
- A** 行政主導でなく、若い方々からそういった提言があれば協力したい。
- Q** 子供の交流、高齢者の交流など今後も続ける。昨年、災害時相互応援協定を結んでいる。
- A** 第5次総合計画策定に当たり、提案として若者を中心に「未来づくりめぐみの郷実行委員会」を設立しては。

質

問

この問答は、質問議員が要約したものです。

瓜尾 美佐子 議員



訪問介護・通所介護を利用して
いる要支援者へ支援の継続を
予防事業の中で
継続できるように移行

Q 厚労省が検討している介護保険制度の見直しで、どんなことが進められようとしているのか。

A 要支援者が利用している訪問介護と通所介護が保険給付から外され、29年の4月から地域支援事業に移すことや、利用料も所得の高い人は1割から2割の負担が検討されている。

Q 特別養護老人ホームの入所を要介護3以上に制限すること

も検討している現在、村内の要支援者は何名か。今回の見直しで、

これまで通りの必要な支援が受けられるのか。



ますや

A 要支援の認定者は213名。そのうち要支援1と2の方が合わせて11名、訪問介護や通所介護、住宅改修など利用している。見直しで保険給付から外されても、村の新しい予防事業の中で継続できるように移行させていく。

Q 新しい事業で高齢者を支える援助が継続できるのか。

A 訪問介護は地域のボランティアを生かし、通所介護は住民運営の憩いの場を充実していきたい。

Q 高齢者の生活支援が大事な課題となっている。介護予防にもつながり、孤立化を防ぐためにも、地域の茶の間として運営している「ますや」のような居場所づくりが今後求められるのでは。

A 高年齢者の生活支援が大事な課題となっている。介護予防にもつながり、孤立化を防ぐためにも、地域の茶の間として運営している「ますや」のような居場所づくりが今後求められるのでは。



弓矢分館のスロープ

A 今後、必要だと考える。

新しい地域支援事業の中で、支援を検討したい。

Q 公共施設のバリアフリー化についての具体的な計画は。

A 今後建設する施設については、すべてバリアフリー化していく。

Q あてら荘の階段は対応できないか。

A 構造上難しい。従業員で対応していきたい。



Q&A 村政を問う

古畑 昌夫 議員

般

第5次総合計画と来年度予算編成は

空き家対策・下水道を
住宅リフォーム助成の対象にする

Q 住宅リフォームの助成は補助率を10%とし、空き家対策・下水道の引き込みも対象とするのか。

A 空き家対策と水洗化率の向上のため、今年度の申請件数は17件で、約230万円、新築は3件となっている。

Q 太陽光発電の申請件数、塩尻などに計画されている木質バイオマス発電への木質材の活用の可能性は。

A 太陽光発電の申請は6件で約70万円。松くい虫やナラ枯れが発生し、木材の移動が困難になっている。将来的には木質ボイラ

Q 1の活用など検討する必要がある。

A 中学校の冷房設備を檢討しているか。また、最近の発掘文化財や薬師堂の復元などで明らかにした郷土史をまとめ、教材や一般向けのわかりやすい冊子にできないか。

A 資料館にある貴重な資料を教材として生かしたい。中学校の空調設備は新年度予算で検討する。

Q 村民の課税所得および起債残高・公債費の見通しの説明を。

A (別表)

Q 第5次総合計画案でも行政と住民の協働が強調されている。総合計画の具体化の際も住民参加による検討や自治組織との連携が必要ではないか。

A ホームページなどによる情報の共有化、防災・高齢者のささえ合いなどでこれらの自治組織の在り方が求められている。

Q JAの農業生産法人の見通し、飼料用米の需要の可能性は。

A 生産法人は計画を一部縮小して来年度立ち上げると聞いている。飼料用米は、ラッピングして和牛繁殖センターでも使えるといわれている。

Q コメの減反政策の見直しの影響は。

A 減反補助金を来年度は半額にし、30年度に廃止、飼料用米は増額が検討されている。

【課税所得額】							単位：千円
年度	給与	営業等	農業	その他	分離	計	
H20	4,252,466	271,732	445	659,905	35,686	5,220,234	
H21	4,036,379	250,408	0	702,242	3,292	4,992,321	
H22	3,622,282	199,022	0	654,323	12,452	4,488,079	
H23	3,739,984	156,284	0	627,292	12,305	4,535,865	
H24	3,716,838	173,214	0	596,071	22,380	4,508,503	
H25	3,665,441	189,601	0	608,175	8,980	4,472,197	

【一般会計地方債現在高の状況】											単位：百万円
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
前年度末 地方債残高①	4,733	4,613	4,472	4,428	3,987	3,464	2,957	2,494	2,071		
公債費負担額 (当年度償還額)	元利合計②=③+④		621	651	608	580	566	543	494	448	397
	元金 ③		558	592	554	531	523	507	463	423	376
	利子 ④		63	59	54	49	43	36	31	25	21
村債(当年度新規発行債) ⑤	438	451	510	90	0	0	0	0	0	0	
当年度末 地方債残高⑥=①+③+⑤	4,613	4,472	4,428	3,987	3,464	2,957	2,494	2,071	1,695		

【一般会計公債費実質負担額の状況】											単位：百万円
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
公債費負担額(当年度償還額)①	621	651	608	580	566	543	494	448	397		
普通交付税措置分(公債費分)②	553	583	563	539	516	507	465	432	397		
公債費実質負担額③=①-②	68	68	45	41	50	36	29	16	0		

活動報告

・シェルビービル市
・奈良県五条市

シェルビービル市訪問



我々も同行した。

シカゴから飛行機で1時間弱のシャンペーンという空港に着くと市長と評議員で昨年大桑へ来たビル・ショーフ夫妻が出迎えてくれ、

またこの3氏は滞在中全日程我々にお付き合いを頂き感謝の一言。

シェルビーという町は人口5千人位で本当に穏やかな安心して住める所。市内で一番高い構造物は地上30m位にある水道タンク。平地だから水を上げて水压をかけ配水をしているのだと思う。

色々な所を案内頂いたが山を見た記憶がない。

前市長の墓参は同夫人も同行し、献花と村長から弔辞を捧げた。夫人は涙ぐんで聞き入っていた。

他にもIH工場視察、小学校訪問、ここでは以前ホームステイ

で来村したサマーさんが先生をしていて「こんにちは。」と向こうから挨拶してくれ、この交流事業の成果であらう。

シェルビーを基点に他にもリンカーン大統領に関係する公園、墓地、再現された住み家、アーミッシュという独特の生活観を持つアーサーという集落。彼らは原則電気は使わず、交通手段は馬車のためこの集落へ入ると、車の車線の外側に馬車専用車線があった。



ジョンソン市長（中央）

貴重な時間もあったという間。別れの時は空港まで送って頂き、ジョンソン市長には来年ぜひとも大桑へ来て頂くよう伝え、ビル・ショーフさんの奥様の万歳三唱で送られ機上の人となった。

最後に、市長のお母様、スマート評議員、フリーマン弁護士、職員のキャリアーさん、そして窓から気楽に声を掛けてくれた市民の皆さん本当に感謝です。ホームステイした子どもたちは異文化にふれ貴重な体験をし、これで終りでなく、この事を生かして、また一歩でも前へ進んでほしいと思う。

何より全員元気で今回の事業が達成できたことを嬉しく思い、この交流が長く実のある交流となることを願います。

（報告者 岩佐孝和）

議員研修

11月19日～20日
奈良県五条市



何でも知ろう 見てやろう！
深層崩壊の実態を！

紀伊半島に、総降雨量

1000mm超の記録的

大雨をもたらした平成

23年の台風12号。その

集中豪雨による深層崩

壊や土石流の被災地

◆初日は、午前6時出

発。那智の滝・那智大

社を見学・参拝し、那

智勝浦泊り。那智の滝

を流れる那智川流域も、

台風12号による土石流

の氾濫跡があちこちに

残り、山崩れや宅地・

田畑への流出土砂の堆

積がみられ、大規模な

工事が、今も進められ

ている。

◆2日目、午前8時半

出発。熊野本宮大社を

参拝後、熊野川をさか

のぼる。木曽よりも谷

深く、空も狭い奈良県

の十津川村を経由して、

正午に五條市大塔に到

着。昼食後、木曽福島

出身の紀伊山地砂防事

務所長の桜井氏から説

明を受け、早速、深層

崩壊現場へ移動。

◆先ずは、十津川支流

の赤谷地区へ。紅葉の

美しかった溪流やキャ

ンプ場の面影はなく、

以前の河床から10m以上も砂礫（砂と小石）に埋まり、その状態が延々と続く。現場では、深層崩壊現場の異様な凄さに圧倒される。幅460m、長さ1100mの崩壊、935万m³の崩壊土砂による河道閉塞。見える範囲でも、右岸の山の稜線付近から斜面全体が、ざっくりとえぐり取られたように崩壊。その全土石が川を埋め尽し、更には対岸の山の



赤谷地区

斜面をかけのぼるような状態で、自然ダムも出現。更には、土石、砂礫の流出と堆積。一般的な言葉となった「深層崩壊」まさしく「百年は一見にしかず」。山の半面が崩れ落ちてしまったと言った方が、分かってもらえるのだろうか。今も残る天然ダムの水を抜きながら、排水路整備・不安定土砂除去作業、砂防堰堤設置、溪流保全整備等を進めている。

◆次は、十津川本流上流部の清水（宇井）地区。長時間の降雨が続いた後、突如、山の斜面が大規模に崩壊。土砂は、道路を分断し河道を閉塞。更には、対岸上部まで到達し集落を襲った。死者7名、行方不明4名の人的被害が発生（合掌）。現在、道路整備も進み、崩壊地安定化保護工事や防護土堤、河道・護岸工事を大規模に進めている。人家が点在する所であり、復旧と再発防止工事の早期完成が望まれる。

◆研修を終え帰途。午後10時、走行距離約800kmに及ぶ意義ある研修を無事終了。

◆大桑村は、「どうなの？どうするの？」を再考する良い契機となった。災害防止に繋げるよう努めたい。

（報告者 水野進）

（会計別予算執行状況）

会 計 名	予算額(万円)	支出済額(万円)	執行率(%)
一 般 会 計	355,440	153,822	43.3
村 営 水 道 事 業 特 別 会 計	25,839	8,760	33.9
国民健康保険事業特別会計	43,459	18,268	42.0
農業集落排水事業特別会計	13,909	4,744	34.1
公共下水道事業特別会計	11,232	4,846	43.1
後期高齢者医療事業特別会	5,952	2,893	48.6
計	455,831	193,333	42.4

定期監査報告

監査委員 奥田斗生
横平幸男

平成25年度上半期主要事業定期監査は、財政状況、主要事業執行状況、委託事業執行状況、負担金補助及び交付金執行状況、特別会計執行状況の5項目を監査対象事項とし、11月6日、7日、13日、14日の4日間で実施した。

（監査所見）

一般会計並びに特別会計の監査対象事務事業411件から書類審査12件、現地審査12件を抽出し、監査を行った。

（1）主要事業、委託事業、負担金補助及び交付金の執行状況

工事関係書類は高度なものになっているが、記入誤りなど初歩的な間違いが目立っている。提出書類を確認し、改善・修正するよう指導されたい。工事写真については、着工前と竣工が対比できるように整理されたい。現場においては、各事業が適正に竣工されており、問題点は見受けられなかった。

（2）税等の滞納処理

村税等の滞納整理については、2年連続で減少していた件数が微増し、収納率も前年に比べ3%ほど減少して

いる。当該担当者のみならず、関係する部署が真摯に取り組み、適正に処理するよう努められたい。また、悪質と判断される事例については、対処方法等検討されたい。

（3）未着手事業

遺物図化委託事業

（教育委員会学校総務係）が遺物整理中のため年度内に完了出来ない可能性がある旨説明があった。その他事業については年度内に執行できるものと判断できる。

（4）むすび

一般会計・特別会計ともに適正に処理され各事業が円滑に推移していると判断される。コスト意識を持って経費の節減に努め、基本理念を忘れないよう住民目線で鋭意執行されたい。

組合議会報告

木曽広域連合

議会報告

◎開催日 11月25日

◎場所 木曽文化公園

第4回定例議会に上程された議案は、条例改正、一般会計・介護保険特別会計の補正予算である。審議の結果全て原案通り可決承認された。

●条例改正4件

3 条例は、地方税法の改正に伴い介護保険料・奨学資金貸付・看護師等奨学金貸付の延滞利率の改正。
1 条例は、木曽連合議会の定数を現行の22人を20人とするもの。

●平成25年度

一般会計補正予算
9 7 6 万円減額し、
30 億 2 7 3 3 万円とす

るもの。

●平成25年度介護保険

等特別会計補正予算
歳出の当該款項の組み替えのため補正額は0円。総額は39億8177万円。

第3回臨時会

◎開催日 12月5日

◎場所 木曽文化公園

所属委員会の任期が本年11月末で終了のため、平成27年11月末までを任期とする委員会構成に関する臨時会。議長は、上松町の村上氏を選出。村選出議員の所属委員会は、総務委員に下起議長、福祉環境委員に瓜尾議員、経済観光委員・運営委員に鈴木。監査委員には、木祖村の古畑氏を選任。

(報告者 鈴木武)

松塩筑木曽老人

福祉施設組合議会報告

◎開催日 11月8日

議案は、平成24年度

組合一般会計予算歳入歳出決算認定、監査・公平各委員の選任、平成25年度組合一般会計補正予算及び損害賠償専決処分報告4件の計8件。審議の結果、原案どおり可決承認した。

◆平成24年度決算認定

歳入45億7158万円、歳出45億5287万円。実質収支は、1872万円の黒字決算となったが、単年度収支では、575万円の赤字。短期入所の稼働向上、長期入所の空床期間短縮、各種加算確保等、サービス収入増に努力する。

◆平成25年度組合一般会計補正予算

今後の事業執行に支障をきたし、また、緊急を要する経費について、800万円を追加し、総額を47億7700万円とした。

◆損害賠償

今回の賠償案件は、4件であったが、平成24年度の介護事故件数は、前年度比21件増の75件が発生した。原因の分析把握と職員間の意思疎通強化、情報共有等による事故の未然防止を推進する必要がある。

(報告者 水野 進)

作品紹介

生涯学習教室などで制作した作品を紹介します。



「絵手紙」 松谷 和代さん (新田)

編集後記

村では、第5次総合計画策定に向け、検討委員会を経て審議会で審議されています。今後10年の間に村が目指す姿を描くことは大変難しいことですが、議会としても将来を見据え、住みよい村づくりのため議論を重ねていくところですよ。

議会だよりも2色刷りとなつてから4回目の発行となりました。今後もわかりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、ご意見等お寄せいただければ幸いです。

(木戸)

委員長 横平 幸男
副委員長 木戸 勘一
委員 沼 友行
大前今朝男
岩佐 孝和